

観察の眼「洞川自然研究路」観察会

観察日：平成30年8月31日（金）天候 曇り時々小雨

記録 1 班 山下 勝弘



下見:平成 30 年 8 月 1 日

コース: 大橋茶屋(スタート)→洞川自然研究路→母公堂→
ごろごろ水→大原山展望台→かりがね橋→龍泉寺
→エコミュージアムセンター(ゴール)



サワヒヨドリ (キク科)



エゴノキ (エゴノキ科)



ヤマジノホトトギス (ユリ科)



イノデ (オシダ科)



ヤマトキホコリ (イラクサ科)



ヤブデマリ (レンブクソウ科)



サワギク (キク科) 別名 ボロギク



ノリウツギ (アジサイ科)



ミツバウツギ (ミツバウツギ科)



ボタンツル (キンボウゲ科)
ボタンツルの葉は切れ込みが入る。
センニンソウは全縁で鋸歯がない。



カナクギノキ (クスノキ科)



コウヤノマンネングサ
(コウヤノマンネングサ科)



オオヤマハコベ (ナデシコ科)
 茎は直立し、上部に腺毛あり、葉は対生し、
 全縁で表面は無毛、葉柄は短い。果実は卵型
 の蒴果



タニタデ (アカバナ科)
 無毛で茎は直立し、葉は対生し波状の鋸歯。
 花は茎先に分枝し、繖状花序。



キハダ (ミカン科)
 キハダの樹皮を乾燥した生薬名オウバク
 から「陀羅尼助」が作られる。



ミゾホオズキ(ハエドクソウ科)
 茎柔らかく無毛、分枝する。葉は対生



オニルリソウ (ムラサキ科)



キブシ (キブシ科)



ウバユリ (ユリ科)



カリガネソウ (クマツツラ科)



ダンコウバイ (クスノキ科)



スノキ (ツツジ科)



マタタビ (マタタビ科)
虫えい



オニグルミ (クルミ科)



ツルニンジン (キキョウ科)
別名 ジイソブ



アワブキ (アワブキ科)
葉は互生。枝先に集まってつく。



ミカエリソウ (シソ科)



クロモジ (クスノキ科)



ハナйкаダ (ハナйкаダ科)



ツリバナ (ニシキギ科)



モミジガサ (キク科)



タンナサワフタギ (ハイノキ科)



ツノハシバミ (カバノキ科)



ノブドウ (ブドウ科)



ヤマトウバナ (シソ科)



エビガライチゴ(バラ科)



ダイコンソウ (バラ科)



ゲンノショウコ (フウロソウ科)



サンカクヅル (ブドウ科)



ムカゴイラクサ (イラクサ科)



フサザクラ (フサザクラ科)



ウド (ウコギ科)



アカバナ (アカバナ科)
 花弁の先が2 浅裂する。
 葉は上部では互生、下部では対生する。



ミヤマハハソ (アワブキ科)
 葉は互生し、表面に粗毛でざらつく。
 コナラ(別名ハハソ)はざらつかない。



ギンバイソウ (アジサイ科)



ハガクレツリフネ (ツリフネソウ科)



ウリノキ (ウリノキ科)



オトギリソウ (オトギリソウ科)



オタカラコウ (キク科)



コバンノキ (コミカンソウ科)



オオツクバネウツギ (スイカズラ科)



チドリノキ (ムクロジ科)



ハリギリ (ウコギ科)

徒長枝の葉っぱは
鋸歯が現れること
がある



イタヤカエデ (ムクロジ科)



ヒヨドリバナ (キク科)



クサボタン (キンポウゲ科)
葉は対生し3出複葉。小葉には大きな粗い鋸歯。
果実に尾っぽの様な絹毛が付く。熟すと風に飛ぶ。



アケボノソウ(リンドウ科)



キッコウハグマ (キク科)



トリカブト(キンポウゲ科)



シロソウメンタケ
(シロソウメンタケ科)